

編集後記

名古屋市瑞穂区高田町の校舎から長久手キャンパスへの移転を果たし、社会福祉学科も社会福祉士受験資格と併せて保育士資格が取得できるようになり、教員も9人体制から一挙に18人体制に拡充された。こうした長久手への移転拡充を背景に、教員の研究も、これまでの文学部という枠から「社会科学としての社会福祉学」研究へと発展させたいという願いを形にしたのがこの『社会福祉学』である。

日本における社会福祉学の本格的な研究は、第2次世界大戦後である。社会福祉学は応用の学として、経済学・法学・社会学・心理学等の支援を受けて理論化を達成してきた。戦後半世紀を経た今日、日本の社会が大きな転換期を迎え、社会科学研究も新たな理論構築を迫られている。『社会福祉学』が、多様な研究分野を擁した本学社会福祉学科教員の研究をとおして、21世紀における社会福祉学理論の道しるべの役割を果たすことを願っている。

(文責 中田 照子)